

## おわりに

合同委員会における検討を通じて得られた知見等は、以下のとおりである。

### 【浅瀬石川二期地区】

が抱える温湯左岸幹線用水路第2号水路橋の耐震補強工事における技術的課題に対し、施工に関して高度な経験を有する外部技術者2名を、事務所発注業務の打合せに2回派遣し、設計業務受注者による施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行った。

打合せでは、地権者への配慮、及びコスト縮減を念頭に置き、掘削・土留の方法、残土仮置き場、搬入路の整備方法等について留意事項と対応案の検討が行われ、敷砂利による運搬路の整備、経験による上下動を伴う円滑な資材の運搬方法等に係わる提案があった。

近年は改修工事や施設の更新工事に伴う技術的課題が増加している。今後とも、国営事業所が抱える技術的課題に対し、設計段階から外部技術者の技術力を活用し、事業を円滑かつ適切に進行するとともに、農政局技術者の技術力を向上することが重要である。

### 【母畑地区】

が直面する千五沢ダム取水塔補修工事における技術的課題に対し、設備に関して豊富な知識を有する外部技術者と千五沢ダムでの高度な工事経験を有する外部技術者を事務所発注業務の打合せに2回派遣し、設計業務受注者から提案された施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行った。

打合せでは、限定された期間で施工する方法や工事に有利になる手段として、シリンダーゲートの取水塔外への取外しや、仮締切の工法変更、管理用道路の造成、設備・装置における更新と継続使用の区分等について提案があり、対応策と現実的な留意事項について検討が行われた。

本事業に係わる施工計画は多種に及び、方向性や残された課題についての洗い出しは行えたが、令和5年度1年間の検討では、必要な情報が集まらず、決定に至らなかった事項がある。提案に対する詳細計画、取水塔上屋に関する検討等は令和6年度に継続する。

## 【おわりに】

本業務を担当した中で、          としても認識を新たにすべき課題があった。

国営浅瀬石川二期地区の温湯左岸幹線水路第2号水路橋は、営農中の樹園地内での耐震補強工事のため、空間的制約が多い中での資機材運搬ルート、掘削範囲・土留工法の選定等が検討課題となった。

近年、国営土地改良事業が主として既存施設の改修・更新となっている状況において、当地区のように作業・仮設に空間的制約を受ける工事は多数存在すると考えられ、課題の解決に当たっては類似する条件での施工経験を有する建設会社技術者の助言が大変有効であると認識した。

国営母畑地区の千五沢ダム取水塔は、既存取水塔の機械設備更新、再塗装等を行う計画であるが、ダム湖の水位を維持しながら作業を行う必要があり、台船の使用、取水塔周囲の仮締切等、仮設に大きな労力・費用を要する工事となる見込みである。

当該工事は、施設機械の更新・補修であるため、機材搬出入の手順、部品の補修か交換かの判断等、機械メーカー技術者の助言が不可欠である事を認識した。また、合同委員会にて          委員長のコメントにあった通り、施設の改修・更新に当たっては、次回の補修・更新における作業の容易さとコスト縮減も考慮した長期的な施設の維持・修繕計画も重要であると認識した。